

Uni-Voice

この広報誌は音声コード Uni-Voice を使用しています。スマートフォン等の専用アプリを使用することで視覚に障害のある方でも、ページの内容を音声で確認することができます。

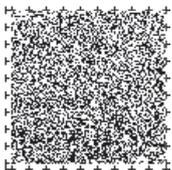
# センターだより

## 3年ぶりに所外レクリエーションを 開催しました！



もくじ

- |                       |                  |              |
|-----------------------|------------------|--------------|
| P2 就労移行支援(養成施設)卒業生の言葉 | P3 所外レクリエーション    | P5 基本理念と基本方針 |
| P2 オープンキャンパス開催        | P4 理療教育について      | P6 利用者募集     |
| P3 歩行訓練士のコラム          | P5 ビジョンパークへの職員派遣 |              |



令和  
5年度

## 就労移行支援（養成施設） 卒業生の言葉



Uni-Voice

自分自身の新たな可能性を開拓したく、センターでの理療課程を専攻しました。入学後は慣れない専門科目の勉強に奮闘する日々が続きました。3年間を通して感じたことは、やはり物事最初が肝心で、1年生の基礎科目の勉強には力を入れるべきだと強く感じました。建物と一緒に基礎がしっかりしていないとその上にうまくものが載せられません。3年生になってくると臨床実習や就活が始まり、座学だけに集中できない環境になってきますが、基礎科目の下地ができていると、2年生以降の応用科目の理解もスムーズで、3年生になって何か予想外の出来事がおきたとしても気の持ちよりの助けになります。一言で申し上げますと、勉強頑張るなら3年生ではなくて1年生の時ほど早めに入念に！



Aさん

視覚障害になって理療課程に入り、何十年ぶりの学生生活が始まりました。勉強のやり方など掴めず、すごく大変でした。周りのみんなの手助けで何とかここまで来れました。また、障害スポーツにふれ楽しい事もありました。フライングディスク・サウンドテーブルテニスで入賞できたのは、この学生生活の中で一番嬉しかったことです。このことで、日々自分にできる事がまだまだ有ると思い、それを積み上げていくことがすごく大事だと感じました。後は国家試験に受かり、新生活をスタートしていただくだけです。センターの皆さまの手厚い支援のおかげです。本当に今までありがとうございました。



Bさん

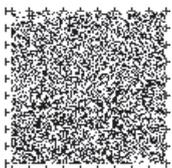
## 令和5年度オープンキャンパスを開催しました！



令和5年10月24日に令和5年度オープンキャンパスを開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となった影響もあり、昨年より多くの方が来場されました。就労移行支援（養成施設）では、科目説明のほか、あん摩授業の見学や、はりきゅう実技の体験をしていただきました。自立訓練では、音声パソコンや白杖を使った歩行訓練の体験をしていただきました。来場者の皆さまからは、「実際に体験ができて大変有意義」「視覚障害の方には是非紹介したい」などの感想をいただきました。その後に行われた施設見学や福祉機器の紹介では「広い施設で多くの方に知っていただきたい」「便利な機器が沢山ありますね」などの感想をいただきました。また、視覚障害者に対する理解をより深めていただこうと、利用者の「俳句・川柳作品展」を開催し、全利用者の作品を展示しました。その一句を紹介します。

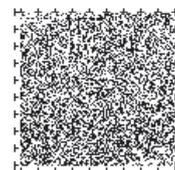
### 「障害に悩まずすすめわが生涯」

令和6年度においてもオープンキャンパスを開催する予定です。多くの方々のご来場をお待ちしております。



Uni-Voice

## 歩行訓練士のコラム



Uni-Voice

歩行訓練は、白杖を活用して安全に移動できることを目標としています。白杖の操作だけでなく、ガイドヘルプの受け方や白杖を使用しない屋内での安全な移動方法についても訓練を行っています。この訓練は、単に移動の不安を解消することを目標とせず、外出のその先にある利用者の方の生活の質の向上を見据えています。通勤や通学といった社会活動はもとより、通院や買い物、交友、趣味活動など、日常生活に更なる彩を添えることができるよう、利用者の方と目標について相談した上で行っています。訓練では、その方の見え方等お身体の状態を踏まえ、その方に合った白杖操作や移動方法を提案しています。例えば、建物の影や看板、信号等が確認できる場合は、そのような手がかりをもとに自身の現在地や方向を認識できるようご案内しており、目の症状や天候等により中々目で前述のような手がかりを確認することが難しい場合は、車や歩行者の足音、飲食店の匂い等視機能以外の五感で手がかりを認識できるようご案内しています。訓練の中で、白杖の操作をスムーズに行えるようになったり、不安で行けなかったと思っていた目的地まで行けるようになった時の喜びは格別だと思います。訓練を提供させていただくものとしても、その瞬間に立ち会えることに最大の喜びを感じます。訓練にご興味のある方は是非ご相談ください。日常生活に更なる彩を添えられる喜びを共に分かち合いたいです！

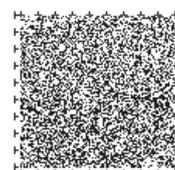


## 3年ぶりの所外レクリエーション!

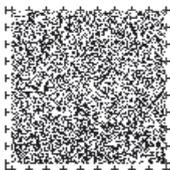
令和5年10月31日に、自立訓練（機能訓練）を利用中の方々を対象とし、所外レクリエーションを実施しました。所外レクリエーションは新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止していたため、約3年ぶりの開催となりました。今回は、神戸の元町にある「北野工房のまちファーストピクチャーズ」にお伺いし、キャンドル作り体験をしました。参加された方々は、初めての体験とのことで、皆さんの思いが詰まった作品を作り上げていました。例えば、海、虹、クリスマスといった、ご自身で決められたテーマに沿って、色彩豊かな砂、ビー玉等を容器に入れ、最後にジェル状の蝋を流し込んで完成です。キャンドルが固



まるまでは、館内を散策したり、休憩したりと、自由時間を満喫されました。通常の訓練とは一味違った体験となり、とても楽しかったという感想が聞かれました。最後に、完成した作品を記念撮影して、終了です。次回のレクリエーションは、どこへ出掛けましょうか……。楽しみです。



Uni-Voice



Uni-Voice



## 理療教育について

～理療教育は心に寄り添う支援～

我が国において、あん摩、はり施術は視覚障害者の特性に合致していたことから、数百年に渡り民衆に深く受け入れられてきた史実があり、これは世界的にみても大きなレガシー（遺産）であるといえます。しかし、その魅力によって健常者の参入が相次ぎ、時代の大きなうねりとなって、昨今では視覚障害者が主となって営む職業ではなくなってきたことも事実です。

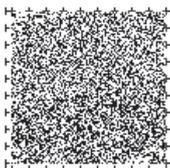
様々な境遇を経て、また大変な葛藤を乗り越えながらも理療（あはき）の道を選んだ方の中には、「見えなくなって仕方ないから」、「他に仕事がないから理療に来た」といった、積極的とはいえない動機の方が少なくありませんでした。それでも、ある程度頑張れば資格を取得できましたが、昨今の国家試験や就労継続の困難さ等から、より一層の苦難に対する覚悟が必要になってきているといえます。

重度視覚障害者の就労は、理療（あはき）に従事する専門職が今なお全体の半数以上を占めていますが、他者の体に触れ施術する限りは、安全且つ効果的に実践できる良識と技量が必要となり、ときには他職種との連携が求められるため、資格を有した職業人としての責任感を備えたうえで、誠実に前向きな思考力のある人材を育成しなければなりません。更にいえば、どんな試練にも負けず、心の痛みにも耐えながらも全てを学びに変えられる、そんなポジティブな考え方ができる心を持った人を育てることが望まれます。

あはき師の育成において理療教育は、専門知識・技術を身に付け、臨床技能を伸ばしていくもので、これは樹木でいえば根幹を成す不可欠なものに当たりますが、それらを支える根底となるのは人格であり、志や利他の精神であると思います。そのためには、人として大切な考え方を支える基本的な理念の存在が大切であるといえます。

例えば、仁（人を思いやること）、義（利欲にとらわれず正しい行いをする）、礼（敬意を持って人と接すること）、知（道理を踏まえた知恵をつけること）、信（誠実であること）『易経』。これらを育てる側・育つ側両方が、行動規範として掲げて徹底を図り、習慣化することで、視覚障害の理療施術者に対する他者からの信頼が得られ、社会評価のアップとなれば、今後の就労移行支援の促進にもつながるものと考えます。

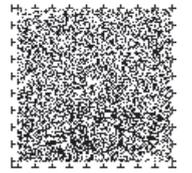
そのような人づくりにおいては、調和のとれた健全なる支援環境の下、単なる知識・技術の教示だけではない、利用者が越えねばならない多くの関門や困難に対して、夢半ばで挫折し、後悔することのなきよう、これまで以上の手厚い「心に寄り添う支援」が必要になってきているといえます。



Uni-Voice



## 神戸アイセンター病院 ビジョンパークへの職員派遣



Uni-Voice

当センターでは、神戸アイセンター病院におけるリハビリ・就労支援にかかる事業に協力するため、平成 29 年度から神戸アイセンター病院 2 階のビジョンパークへ定期的に職員を派遣し、眼疾患の患者様や視覚障害の方、ご家族等からの相談に応じております。その中で、視覚障害による困りごとの解消に向けた情報や、円滑な視覚障害リハビリテーションへの移行に関する情報を提供しています。派遣にあたっては、月 1 回の頻度で 13 時から 17 時の時間帯に職員 1～2 名で対応しています。なお、当センター以外にも、近畿地区の関係機関や視覚障害者団体等が同様に参画しております。これらの団体等の活動日のスケジュール調整や、支援が必要とされる患者様と相談に応じる関係機関とをつなぐ役割は、ビジョンパークを運営する公益社団法人ネクストビジョンが行っています。神戸アイセンター病院の眼科医と、ビジョンパーク内で活動するネクストビジョンや当センター等の関係団体との連携が図れることで、患者様等へのきめ細やかな相談対応が可能となっております。相談に訪れる患者様は視覚障害手帳の有無に限らず、視覚の低下により様々な困りごとを抱えており、相談対応の結果、困りごとの解消につながったこと、当センター利用に向けた相談や他事業所等への紹介等、次への展開につながる事ができた場面もありました。今後も、相談に来られた方の不安や悩みが軽減され、より良い方向へ歩みだせるよう、懇切丁寧な対応を心がけていきたいと思っております。



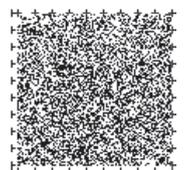
## 当センターの基本理念と基本方針

### 基本理念

- 1 私たちは、利用者の基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしいサービスを提供します。
- 2 私たちは、利用者が社会の一員として、あらゆる活動に参加できるよう支援します。

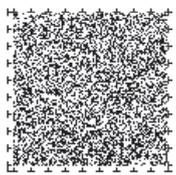
### 基本方針

障害者基本法、社会福祉法の基本理念に基づき、障害者総合支援法に規定される障害者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る支援を行い、もって障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず誰もが相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことの出来る地域社会の実現に寄与することを目指します。



Uni-Voice

# 利用者募集



Uni-Voice

視覚に障害のある方を対象として、就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）は3年制で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得のための職業訓練を行います。資格取得後の進路は、高齢者施設や一般企業のヘルスキーパー（企業内理療師）等への就職、治療院の開業、進学等です。

自立訓練（機能訓練）では、歩行、パソコン、タブレット端末、録音再生機器、視覚的補助具（ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、遮光レンズ）、日常生活に関する訓練（例：調理）等を行います。訓練を修了された方の中には、当センターの就労移行支援（養成施設）に進む方もいます。

利用を希望される方は、まず当センターにご相談ください。来所による相談や見学も受け付けています。なお、利用申込に必要な書類は当センターから取り寄せていただくか、ホームページからも印刷できます。利用に関する相談以外に、生活に役立つ道具のご紹介、他の施設やサービス等のご案内もいたしますので、お気軽にご連絡ください。

## 就労移行支援（養成施設）

### 対象

視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた、次の①または②に該当する18歳以上の方。

①学校教育法第90条第1項の大学に入学することができる方。

②当センターが実施する「個別利用資格審査」によって、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた方

### 募集人員

20名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）

### 利用開始

令和7年4月上旬

### 利用期間

3年間

### 利用方法

通所またはセンター内宿舎利用（宿舎は休日も利用可）

### 受付期間

令和6年8月頃より（お問い合わせ下さい）

## 自立訓練（機能訓練）

### 対象

視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた方

### 定員

10名

### 訓練内容

歩行 パソコン 点字 ロービジョン 日常 調理 スポーツ 陶芸 レクリエーションなど

### 利用期間

個人に応じる

### 利用方法

通所またはセンター内宿舎利用、訪問訓練（※応相談）

### 備考

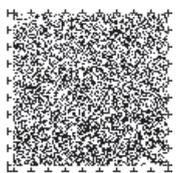
利用申込みや利用開始時期は随時

## センター見学のご案内

当センターでは、随時見学を受け入れております。（休日も対応可能な場合があります。（応相談））「センターの利用を考えたいけど不安」というご本人やそのご家族、「紹介したいけど、よく分からない」というお知り合いの方や福祉関係者の皆様など、授業や訓練の様子、宿舎など、見学できます。お気軽にお越しください。

見学が可能な時間 原則として平日9時30分～16時30分まで（要予約）

また、職員を講師とした講習会等の出前講座も実施しています。事前にご相談ください。



Uni-Voice

### 連絡先

## 神戸視力障害センター 支援課

電話 (078) 923-4670 FAX (078) 928-4122

ホームページ : <http://www.rehab.go.jp/kobe/> E-mail : [soudan-kobe@mhlw.go.jp](mailto:soudan-kobe@mhlw.go.jp)